



発行番号：第13A3832号
発行日：平成26年 2月24日
再発行日：平成27年 4月 9日

品質性能試験報告書

依頼者

F S テ ク ニ カ ル 株 式 会 社

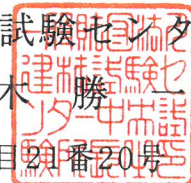
東京都葛飾区高砂 1 - 2 2 - 1 5

試験名称

注 入 口 付 ア ン カ ー ピ ン の 性 能 試 験

標記試験結果は本報告のとおりであることを証明します。

一般財団法人 建材試験センター
中央試験所長 黒 木 勝
埼玉県草加市稲荷 5 丁目 2 番 20 号



[試験名称]

注 入 口 付 ア ン カ ー ピ ン の 性 能 試 験

[目 次]

1. 試 験 の 内 容	-----	2
2. 試 験 体	-----	2
3. 母 材	-----	3
4. 試 験 方 法	-----	5
5. 試 験 結 果	-----	7
6. 試験の期間, 担当者及び場所	-----	11

1. 試験の内容

F Sテクニカル株式会社から提出された2種類の注入口付アンカーピンについて、躯体を想定した母材（以下、母材とする。）に対する打ち込み状況の確認試験を行った。

2. 試験体

試験体の概要を表-1に、外観を写真-1及び写真-2に示す。

表-1 試験体の概要（依頼者提出資料による）

名 称	注入口付アンカーピン	
種 類	N B アンカー	比較品アンカー
材 質	ステンレス	ステンレス
寸 法	$\phi 6\text{mm} \times 50\text{mm}$	$\phi 6\text{mm} \times 50\text{mm}$
数 量	12 個	12 個

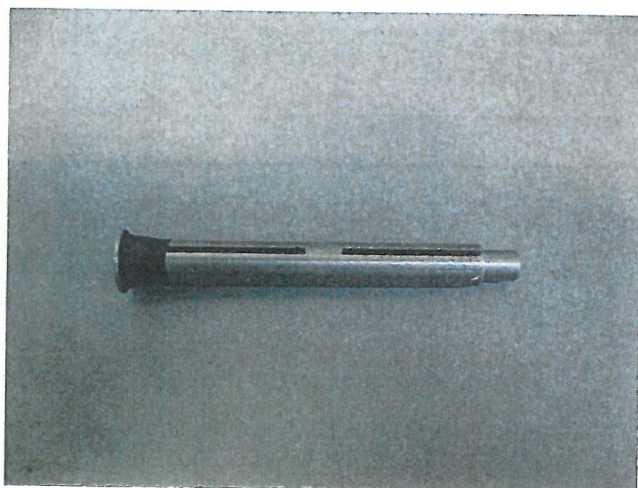


写真-1 試験体 [NBアンカー]

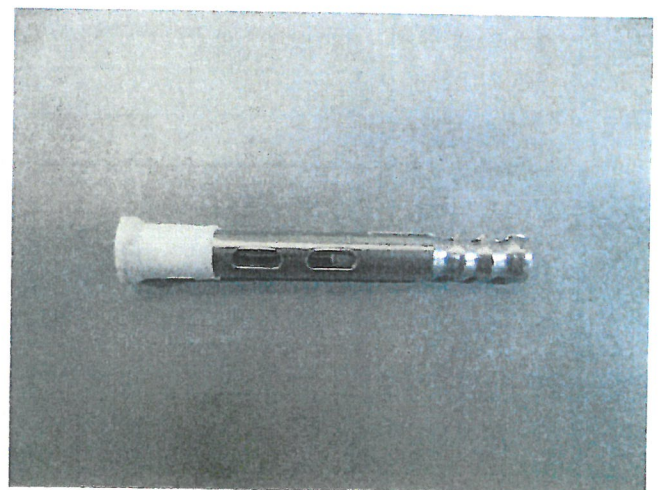


写真-2 試験体 [比較品アンカー]

3. 母 材

母材は、依頼者から提出されたコンクリート基板及びモルタル板を用いて作製した。作製方法を以下に、母材の構成を表-2 に、母材の作製状況を写真-3～写真-7 に示す。

- (1) コンクリート基板にすきまゲージ及びモルタル板を使用して、0.5mm の隙間を作製した。
- (2) 湿式二軸低騒音ドリル（ $\phi 6.5\text{mm}$ ）を用いて、固定されたモルタル板中央部の表面からコンクリート基板に孔をあけた。孔の深さは55mmとした。
- (3) 母材は、試験体の種類及びモルタルの厚さ毎に3箇所作製した。

表-2 母 材 の 構 成

構成材料	仕 様	数 量
コンクリート 基 板	JIS A 5371（プレキャスト無筋コンクリート製品）附属書 B（規定）舗装・境界ブロック類 I 類に規定する地先境界ブロック（呼び：C）， 600mm×150mm×150mm	6 体
すきまゲージ	100mm×13mm×0.5mm	測定 1 箇所 当たり 2 枚 (合計 36 体)
モルタル板	JIS R 5201（セメントの物理試験方法）附属書 2 セメントの試験方法－強さの測定 6. モルタルの作り方に準じて作製したもの， 150mm×150mm，厚さ 5mm，7mm，9mm	厚さ毎に 6 枚 (合計 18 枚)

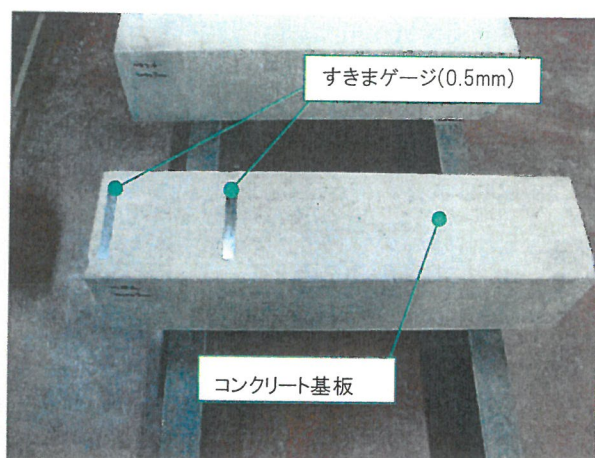


写真-3 母材の作製状況
[コンクリート基板にすきまゲージを設置]

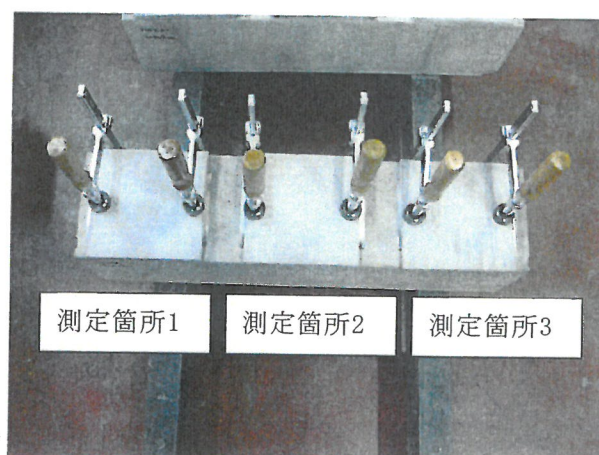


写真-6 母材の作製状況
[コンクリート基板1体に対して
モルタル板3枚を固定]

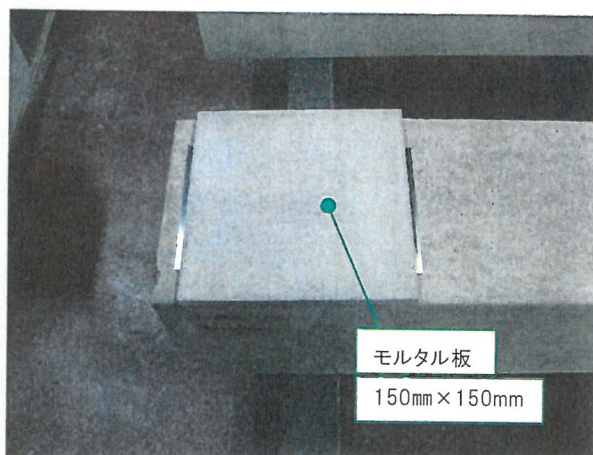


写真-4 母材の作製状況
[モルタル板の設置]



写真-7 母材の作製状況
[湿式二軸低騒音ドリルによる孔あけ状況]

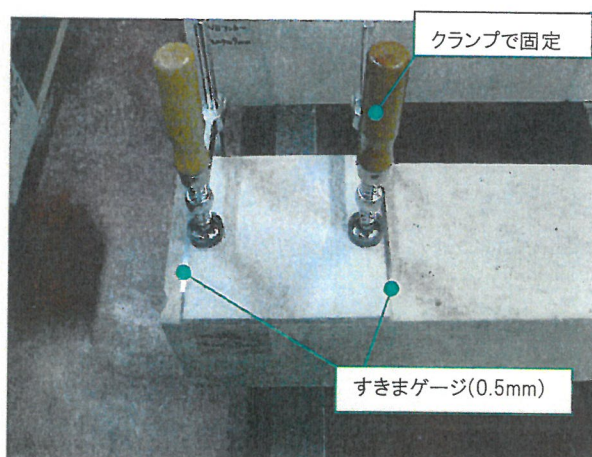


写真-5 母材の作製状況
[すきまゲージを介してコンクリート基板と
モルタル板を固定]

4. 試験方法

試験方法を以下に、試験に用いたアンカーピンの打ち込み鋺を写真-8 及び写真-9 に、試験状況を写真-10～写真-15 に示す。

- (1) 母材にあけた孔に試験体（注入口付アンカーピン）を設置した。
- (2) アンカーピンの打ち込み鋺を母材に設置した。
- (3) 依頼者がハンマーを用いて試験体を打ち込んだ。
- (4) 試験体が打ち込まれた母材のモルタル面を目視で観察した。

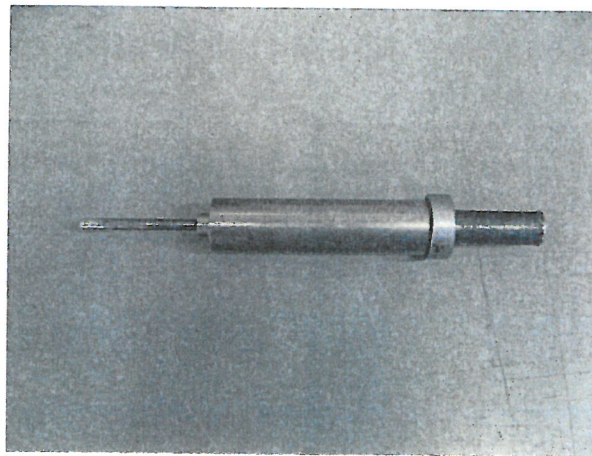


写真-8 アンカーピンの打ち込み鋺
[NBアンカー用]

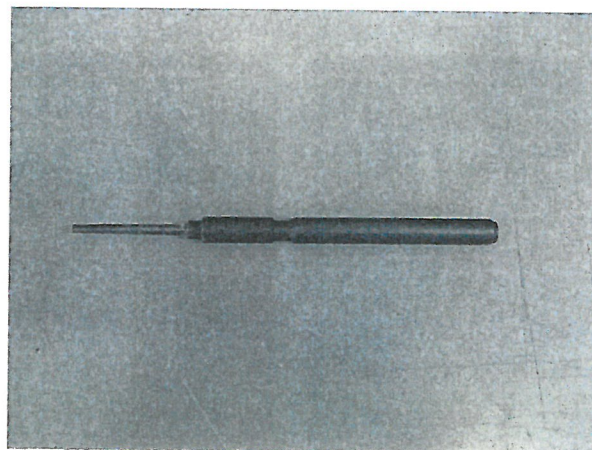


写真-9 アンカーピンの打ち込み鋺
[比較品用]

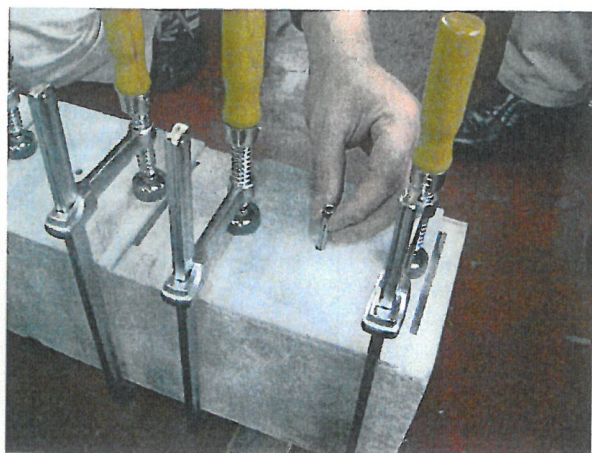


写真-10 試験状況
[試験体の設置]
(NBアンカー)

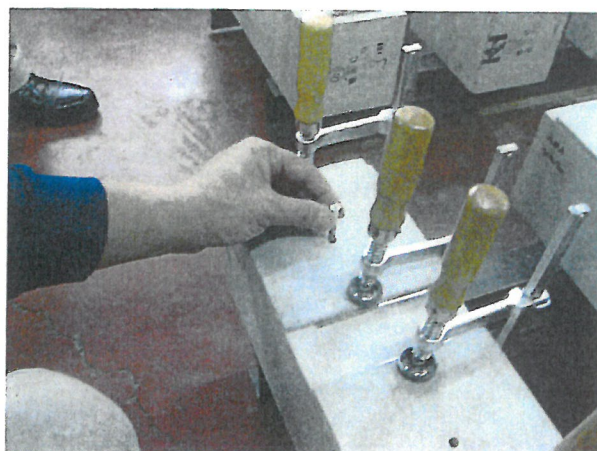


写真-13 試験状況
[試験体の設置]
(比較品アンカー)

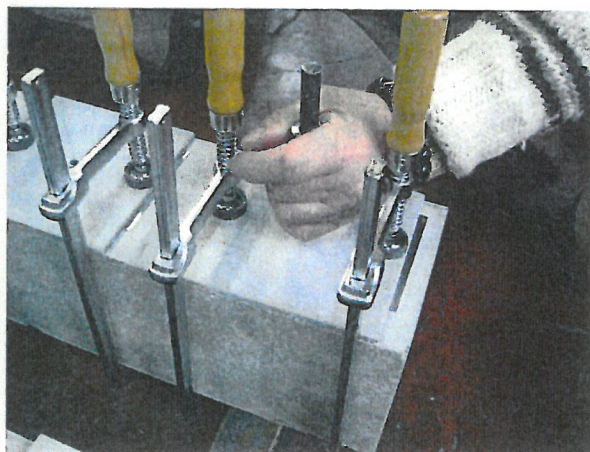


写真-11 試験状況
[打ち込み鉋の設置]
(NBアンカー)

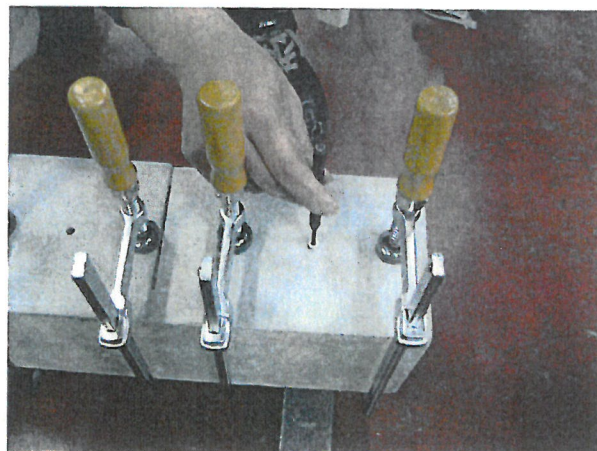


写真-14 試験状況
[打ち込み鉋の設置]
(比較品アンカー)



写真-12 試験状況
[試験体の打ち込み]
(NBアンカー)

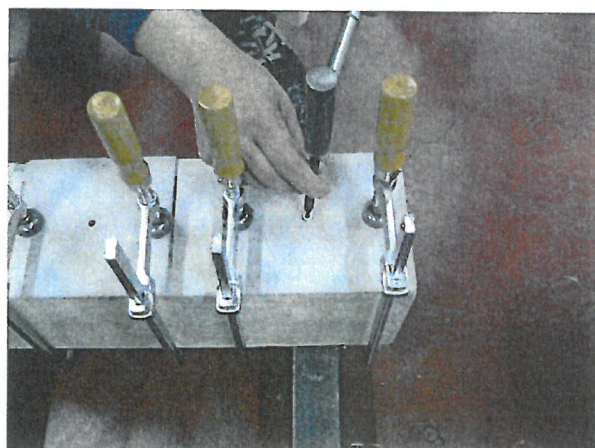


写真-15 試験状況
[試験体の打ち込み]
(比較品アンカー)

5. 試験結果

試験結果を表-3 に、試験後の試験体状況を写真-16～写真-33 に示す。

表-3 試験結果

モルタルの厚さ	測定箇所	NBアンカー	比較品アンカー
5mm	測定箇所1	モルタル板の割れは認められなかった。	モルタル板の割れが認められた。
	測定箇所2	モルタル板の割れは認められなかった。	モルタル板の割れが認められた。
	測定箇所3	モルタル板の割れは認められなかった。	モルタル板の割れが認められた。
7mm	測定箇所1	モルタル板の割れは認められなかった。	モルタル板の割れが認められた。
	測定箇所2	モルタル板の割れは認められなかった。	モルタル板の割れが認められた。
	測定箇所3	モルタル板の割れは認められなかった。	モルタル板の割れが認められた。
9mm	測定箇所1	モルタル板の割れは認められなかった。	モルタル板の割れが認められた。
	測定箇所2	モルタル板の割れは認められなかった。	モルタル板の割れが認められた。
	測定箇所3	モルタル板の割れは認められなかった。	モルタル板の割れが認められた。
備 考		比較品アンカーピンのモルタル厚さ 5mm の測定箇所 1 については、アンカーピンの打ち込み時にモルタル板の一部にハンマーが接触して割れたため、損傷した部分は観察対象外とした。	

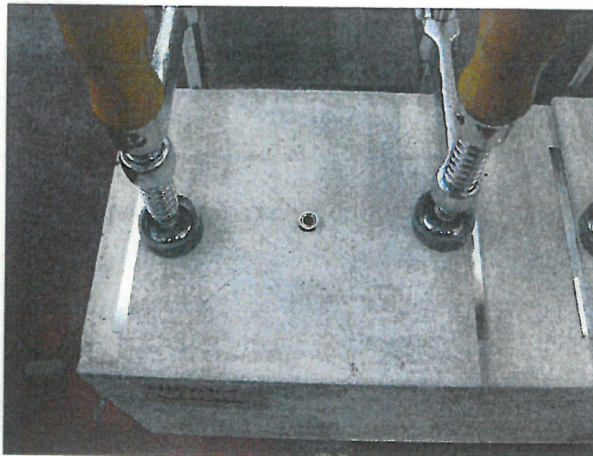


写真-16 試験後の試験体状況
[モルタル厚さ5mm, NBアンカー, 測定箇所1]

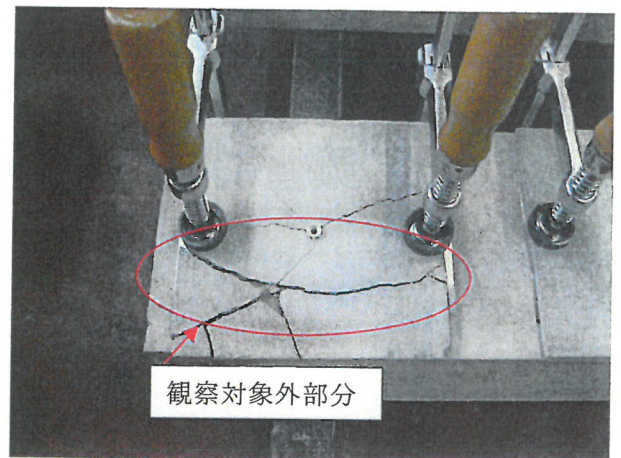


写真-19 試験後の試験体状況
[モルタル厚さ5mm, 比較品アンカー, 測定箇所1]

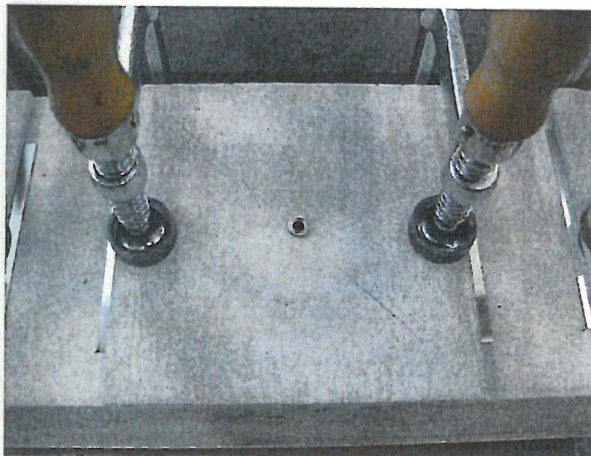


写真-17 試験後の試験体状況
[モルタル厚さ5mm, NBアンカー, 測定箇所2]

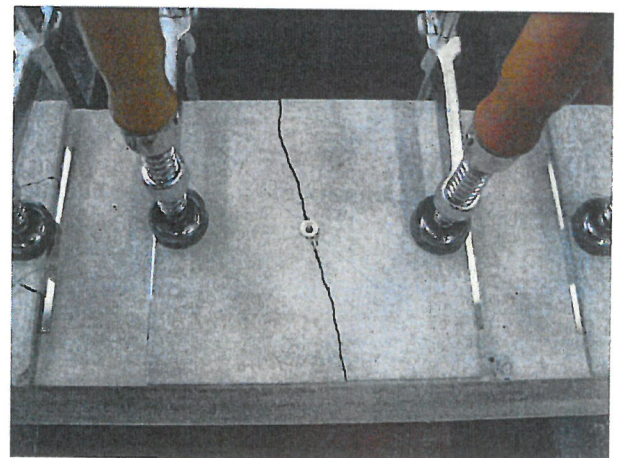


写真-20 試験後の試験体状況
[モルタル厚さ5mm, 比較品アンカー, 測定箇所2]

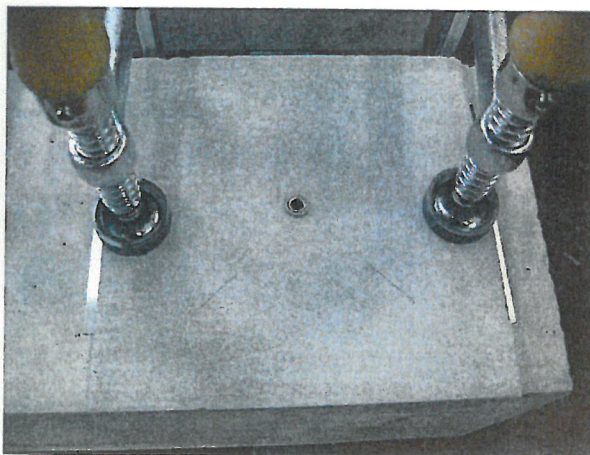


写真-18 試験後の試験体状況
[モルタル厚さ5mm, NBアンカー, 測定箇所3]

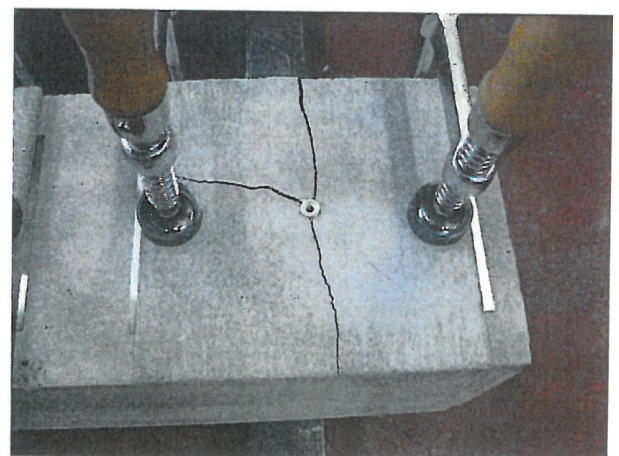


写真-21 試験後の試験体状況
[モルタル厚さ5mm, 比較品アンカー, 測定箇所3]

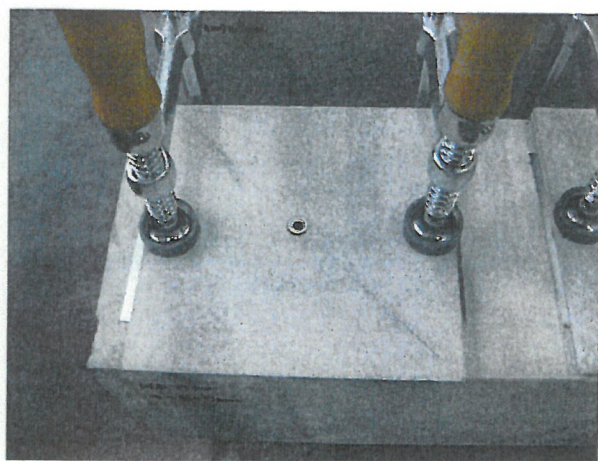


写真-22 試験後の試験体状況
[モルタル厚さ7mm, NBアンカー, 測定箇所1]

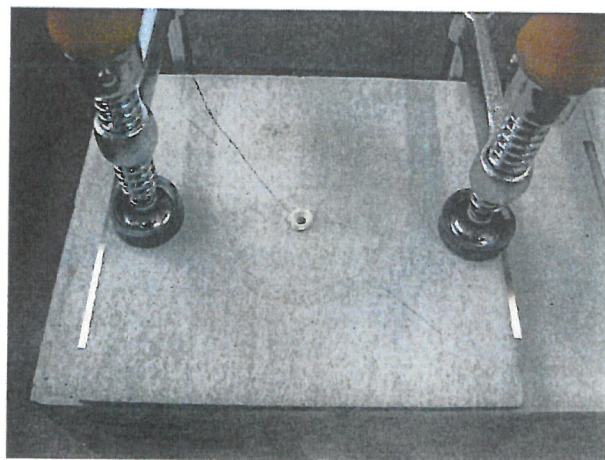


写真-25 試験後の試験体状況
[モルタル厚さ7mm, 比較品アンカー, 測定箇所1]

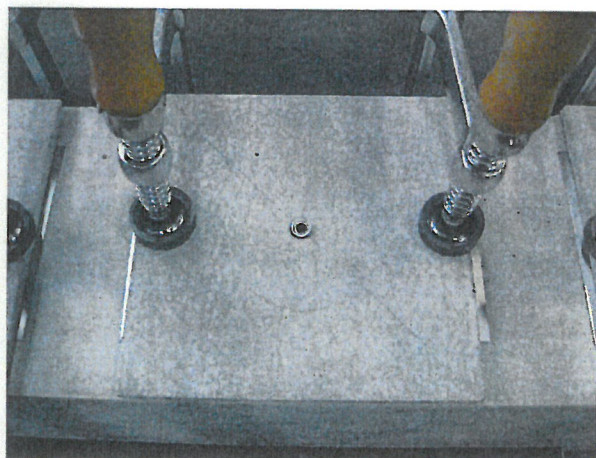


写真-23 試験後の試験体状況
[モルタル厚さ7mm, NBアンカー, 測定箇所2]

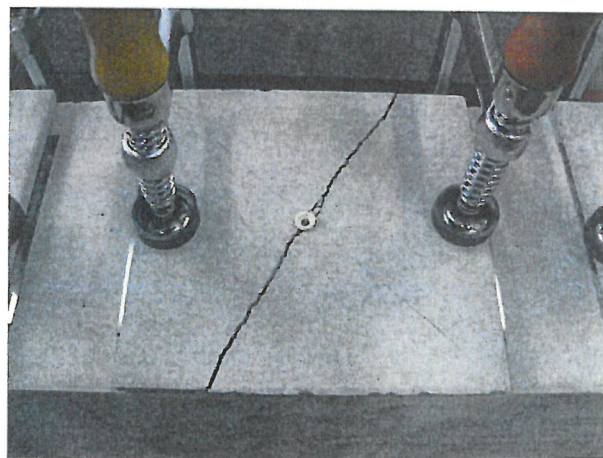


写真-26 試験後の試験体状況
[モルタル厚さ7mm, 比較品アンカー, 測定箇所2]

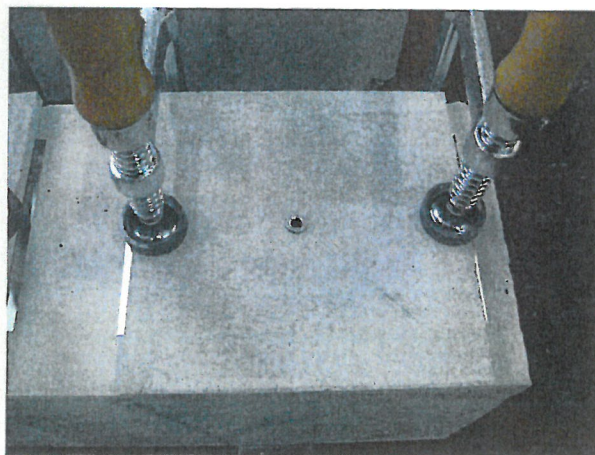


写真-24 試験後の試験体状況
[モルタル厚さ7mm, NBアンカー, 測定箇所3]

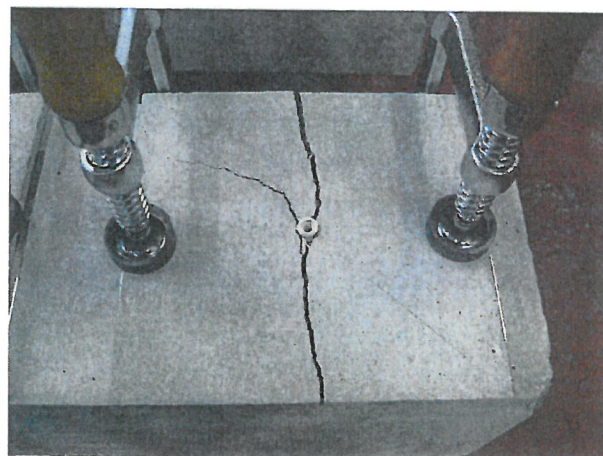


写真-27 試験後の試験体状況
[モルタル厚さ7mm, 比較品アンカー, 測定箇所3]

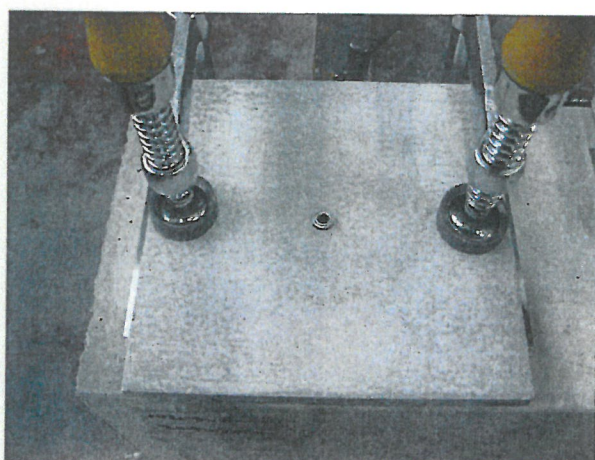


写真-28 試験後の試験体状況
[モルタル厚さ9mm, NBアンカー, 測定箇所1]

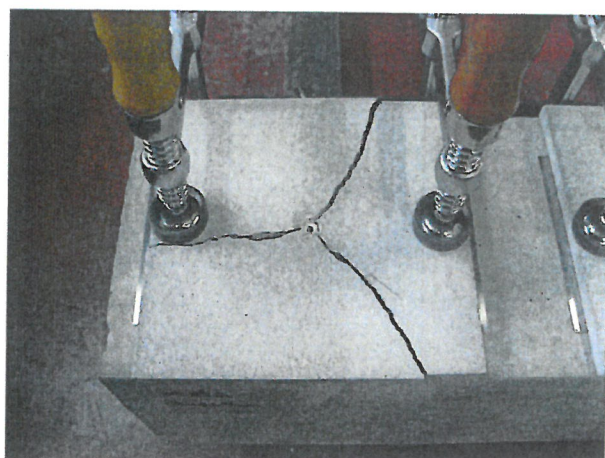


写真-31 試験後の試験体状況
[モルタル厚さ9mm, 比較品アンカー, 測定箇所1]

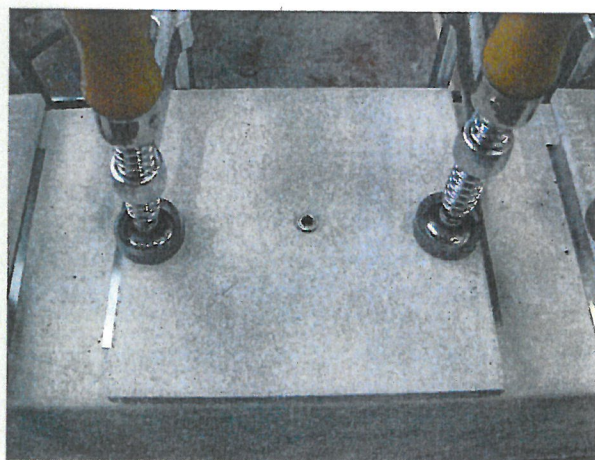


写真-29 試験後の試験体状況
[モルタル厚さ9mm, NBアンカー, 測定箇所2]

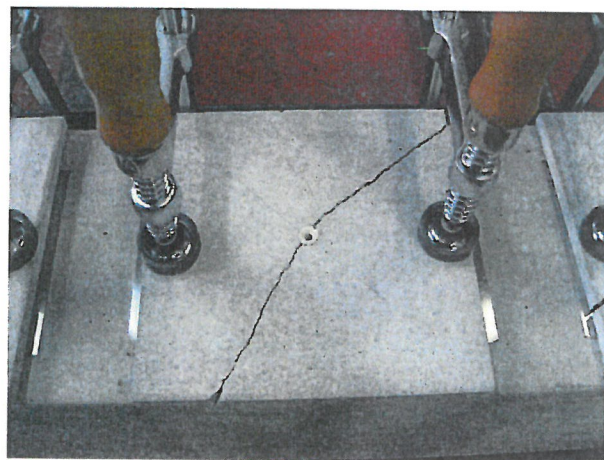


写真-32 試験後の試験体状況
[モルタル厚さ9mm, 比較品アンカー, 測定箇所2]

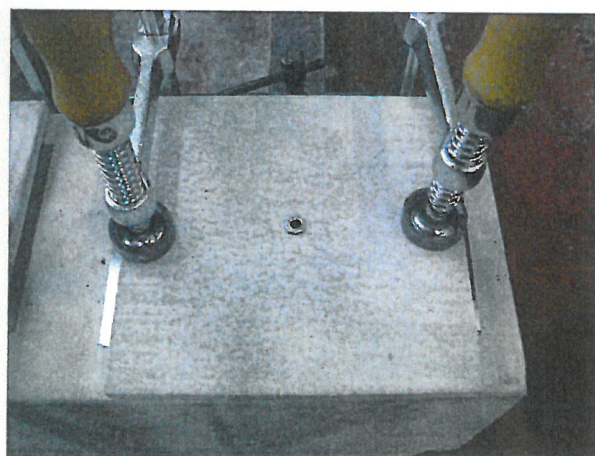


写真-30 試験後の試験体状況
[モルタル厚さ9mm, NBアンカー, 測定箇所3]

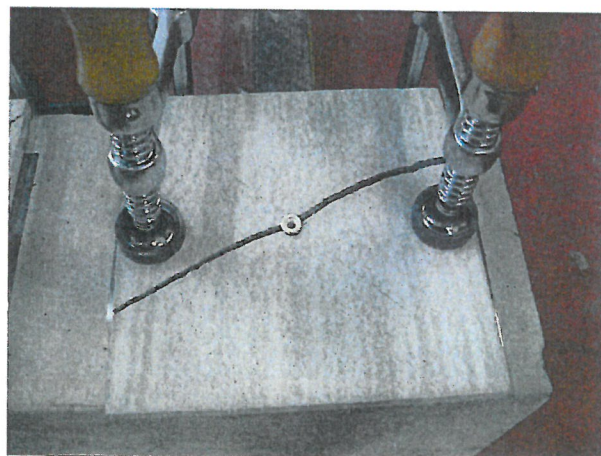


写真-33 試験後の試験体状況
[モルタル厚さ9mm, 比較品アンカー, 測定箇所3]

6. 試験の期間，担当者及び場所

期 間 平成26年 2月10日

担 当 者 材料グループ
統括リーダー 鈴木 敏 夫
主幹 渡 辺 一（主担当）

場 所 中央試験所

以下余白

